

HAKUBAVALLEY TOURISM
令和5年度活動状況報告書
【Annual Report 2023-24】



一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

目次

1. ご挨拶
 2. HVT沿革について
 3. エリア概況
 4. 今期(R5)活動結果
 5. 今期(R5)活動内容
 6. 来期(R6)活動計画
 7. 来期(R6)活動内容
 8. 観光財源について
- ◆ KPI(主要成長目標指数)
 - ◆ 予決算概要

1. ご挨拶

- 一般社団法人HAKUBAVALLEY TOURISM(以下、HVT)は設立して5年を迎えました。実績を振り返ると共に今後の目標についてお話させていただきます。
- **①冬期インバウンド集客の飛躍**
元来HVTの使命は集客と接客です。HVTの母体である白馬バレー索道事業者プロモーションボードがインバウンド集客を10年来継続し、23-24シーズンは56万人を超える集客が出来ました。コロナ渦3年間も営業アプローチをWebで継続し、開国後は蓄積した営業先リストへの訪問を行った成果だと自負しております。
- **②夏期インバウンド集客への挑戦**
我々が海外旅行に行く時と同様に、訪日する方も初回訪問時は一か所集中滞在でなく複数の観光地をハシゴするケースが多いと考えました。然るに今年は長野・松本・糸魚川・北陸エリア他の中近距離観光地との連携策を進めて『点でなく線で』の集客を企図しました。他の観光地と組む際の当エリアの観光拠点として『白馬バレー(以下、HV)八景』を選定。域内観光ルートとして整備し準備を進めてきました。昨年はファミトリップを実施。今年はアジア圏からのツアー商品が造成し発売しました。
- **③特定事業(景観・ガストロノミー・SDGs)の遂行**
ガストロノミー・SDGsについては継続課題を遂行中です。景観は白馬バレー八景によって観光ルートを造成するなど実集客にも寄与し始めました。
- 交通機関改善にチャレンジ中で、今期ナイトシャトルバスの試験導入を行います。
- 我々の目標は通年で観光集客を増やし雇用を創出。定住人口を増やすことです。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

令和6年5月

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

代表理事 高梨 光



2. HVT沿革について

- 03年 白馬村スキー場共通リフト券販売開始(HAPPY7)
- 08年 共通リフト券に小谷村スキー場加入
(白馬オールマウンテン乗車券)
- 13年9月 大町市スキー場が加入し、
HAKUBAVALLEY共通リフト券として販売開始
- 15年6月 HAKUBAVALLEY共通シーズン券販売開始
- 15年9月 HAKUBAVALLEY索道事業者プロモーションボード設立
- 18年 HVPBを母体としHAKUBAVALLEY TOURISM設立検討
- 19年4月 一社) HAKUBAVALLEY TOURISM 設立
- 20年3月 令和元年度(第一期)決算期日
- 以降 毎年度末決算を実施
- 23年5月 定款変更(一部収益団体への移行)

3. エリア概況(外国人スキーヤー来場者数)

コロナ前シーズン(19-20)比の152%のインバウンド来訪者を記録



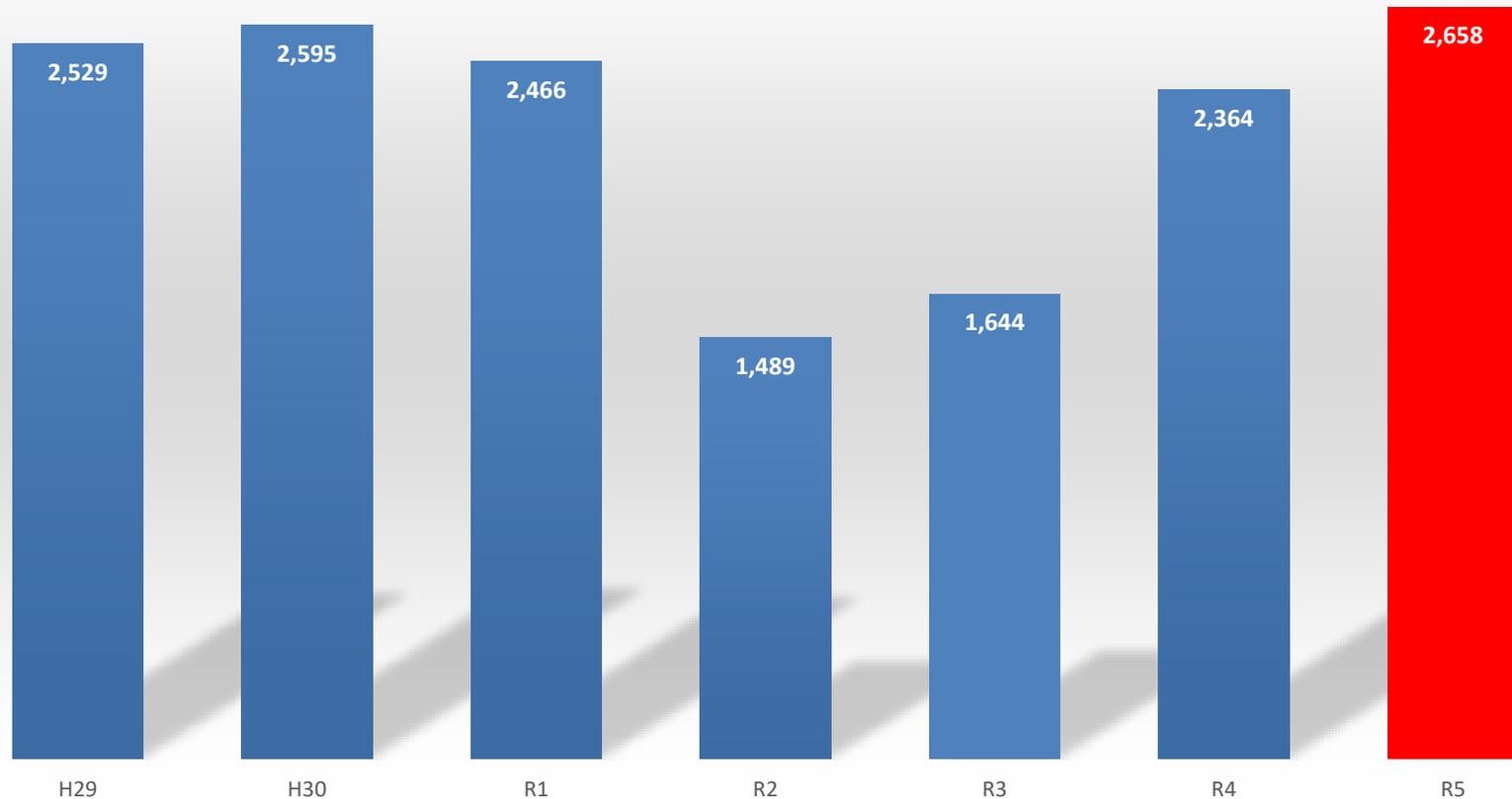
注: Hakuba Valleyは、爺ガ岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、榎池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成
 出典: HAKUBAVALLEY 索道事業者プロモーションボード(以下HVPBという) 調べ

3. エリア概況(夏期観光客数)

5月のCOVID-19 5類移行もあり、コロナ禍前以上の来場となった。

3市村 夏期観光客総来場者数の推移

単位:千人



注: 3市村は大町市、白馬村、小谷村
出典: 3市村観光課 調べ

4. HVT R5年度結果

(1) マーケティング活動

海外旅行博出展及びWeb(SNS)でのプロモーション実施
結果として、注力国からの**グリーン期の来訪者数**
コロナ前(19年)比 162%※1 の実績 ※長野県 92%※2

※1・2 NAVITIMEインバウンドGPSデータ

(2) マーケティング関連業務・特定事業

プロモーション素材(動画等)の多言語化を実施。
在香港の旅行会社を招聘するFAMツアーを実施し、
HV八景を題材とした周遊ツアーの造成と販売を開始。
今後に向け、長野・松本・糸魚川との近隣連携を開始。

(3) HVシャトル(冬季)

想定以上の大幅なインバウンド客来訪増により、
大混雑・遅延多発・臨時便追加等の問題が多数発生。
⇒ バス台数の倍増及び夕方ナイトシャトル運行。
エリア内外の複数バス会社のご協力を打診。

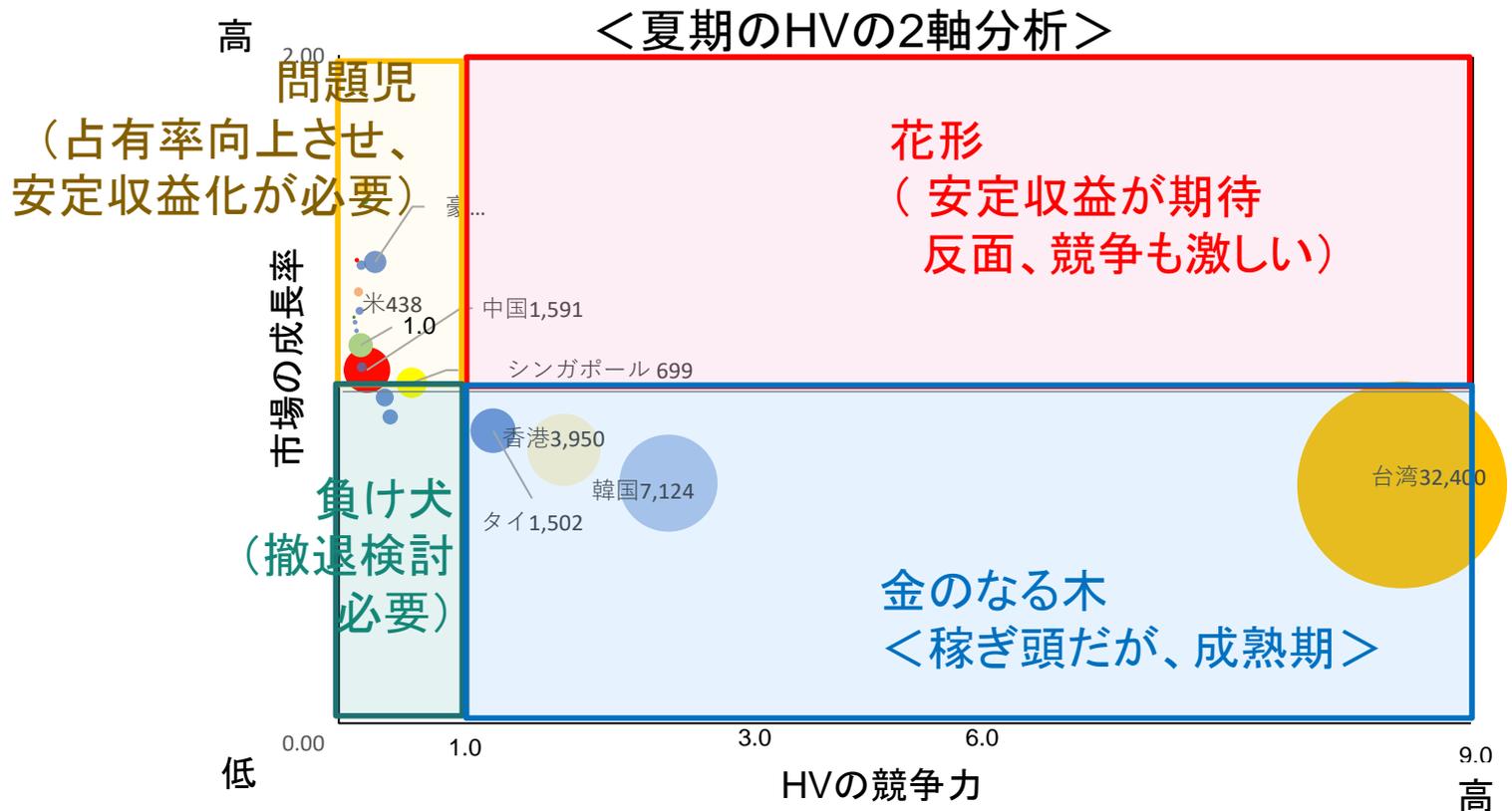
5. R5年度活動内容(マーケティング関連)

戦略的な誘客に向け、以下のサイクルでマーケティングを実施。



① 戦略

HVエリア集客の、市場成長率と競争力の2軸分析を行いポジションを明確化
 今後の注力国・地域を明確化し、プロモーション施策に反映。



金のなる木: 台湾は堅持、香港・韓国・タイを強化
問題児: シンガポール・中国を先行し、豪・欧米は順次

② 集客

HV八景を基軸に、グリーン期のインバウンドプロモーションを実施

在外旅行会社のFAMトリップ・商談会



3市村から、10社の宿泊事業者が参加
⇒ 旅行商品として販売開始

SNS広告配信

HV八景を紹介する動画を制作、
中国香港台湾タイシンガポールへ広告配信



インプレッション数
FB・IG: 52百万超 Weibo:1百万超

海外旅行博出展

6月 香港 BookFair 2月 タイ ITF



約1,800人への直接接客の実施
(271件のアンケートデータ取得)

映像作品制作・豪州内TV放映

豪州人アーティストを起用し、
HV八景「塩の道」魅力放映



「Discovery Channell」にて
豪州・NZ 全土で45回の放映

③ 調査

マーケティングの基礎調査として、来訪者アンケートと動態調査を実施

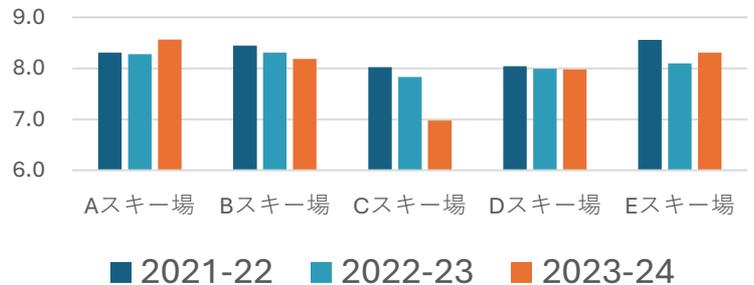
来訪者アンケートの実施

3市村内計21か所で計2,200人回答
(毎年実施、3年目)



<調査結果例>

過去3年間の各リゾート満足度



→毎年調査により、
変化をとらえた対策が可能。
対策の効果反応の把握も可能

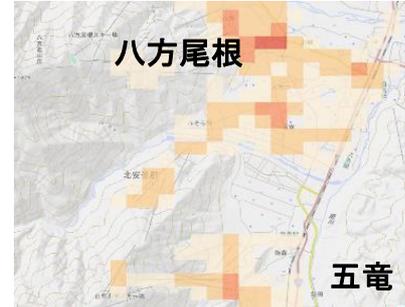
インバウンドGPS(動態調査)

携帯電話のGPSデータから、インバウンド来訪者の動態(出身国や訪問スポット)を把握

- ・市町村別メッシュデータ (250m、1km、10km)
- ・市町村別前後滞在場所ランキング
- ・市区町村別滞在者数
- ・市町村別平均滞在日数

<メッシュデータ(例)>

A 豪州から



八方尾根:豪州

B 東アジアから



五竜:東アジア方面多い

→ 継続的なデータ調査により、市村や箇所毎の
変化点や特徴を捉えて、マーケティング反映

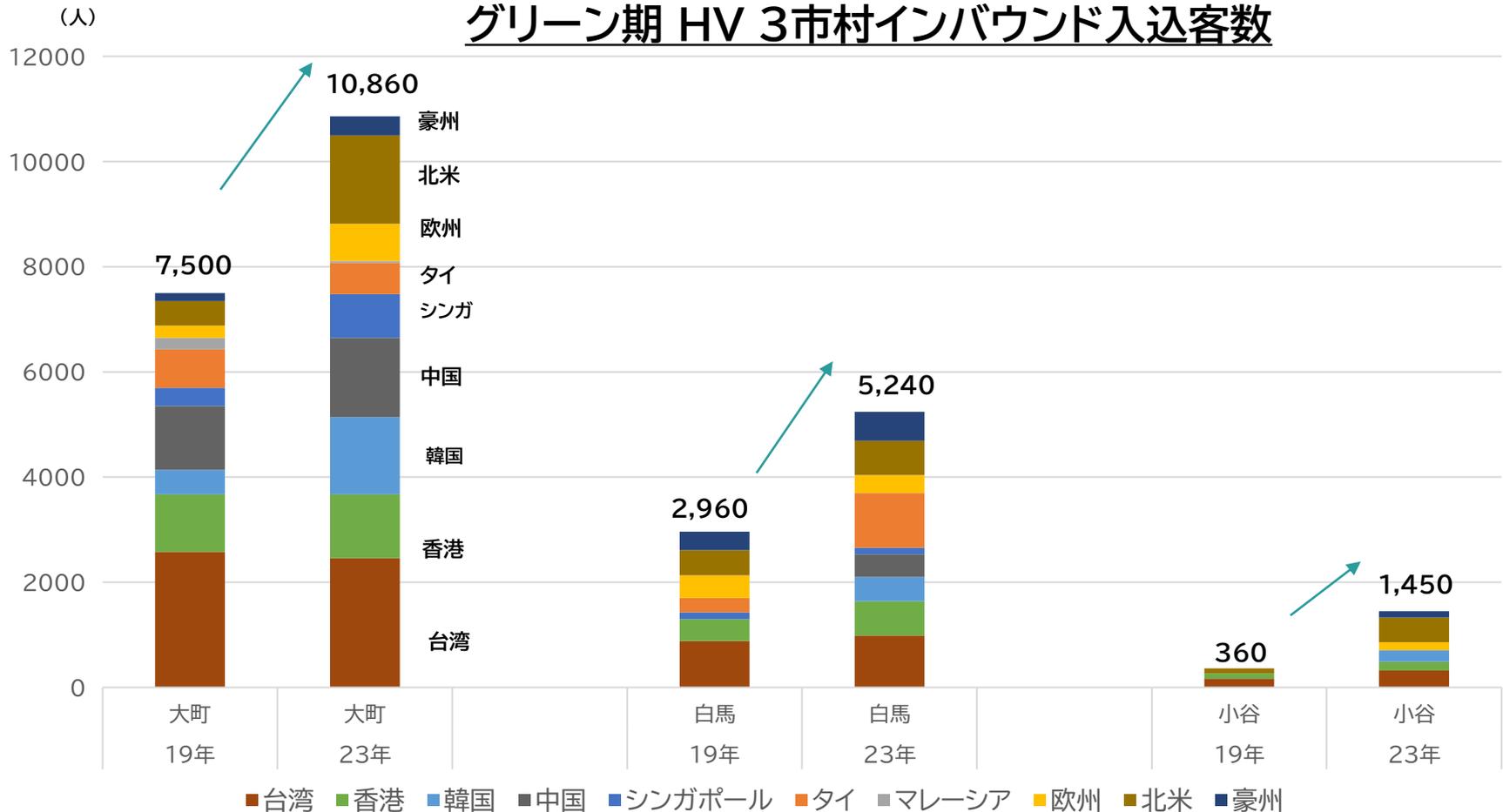
④ 分析

グリーン期 3市村インバウンド入込客数のまとめ

NAVITIME社が提供する、インバウンドGPSデータを取得し、HVエリアへ来訪するインバウンドの属性情報の分析実施。

- ・ コロナ禍前と比較し、インバウンドの来訪者は3市村とも増加 (+62%)
- ・ 特に、北米豪州、タイ・シンガポールの来訪者数の伸びが大きい

グリーン期 HV 3市村インバウンド入込客数



5. R5年度活動内容(特定事業:SDGs)

- ①目的:「**持続可能な山岳エコツーリズムの聖地**」の実現
- ②進捗:
 - ・**HakubaValley SDGs VISION**制定・**中長期目標**の宣言
 - ・事業者向け**アクションリスト**の展開と**啓発活動**の開催

19/12

20/10

21/4

22/7

22/11

23/9

委員会発足

VISION策定

アクションリスト冊子

勉強会開催

事業者啓発イベント


HAKUBAVALLEY
 Vision and goals



HAKUBAVALLEY SDGs アクションリスト

SDGs	目標	アクション	担当者	進捗状況
1	持続可能な山岳エコツーリズムの聖地の実現
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



③課題:

アクションリストの各事業者での推進状況の把握

5. R5年度活動内容(特定事業:ガストロノミー)

- ①目的: 訪問のきっかけとなる食づくりとHVの食文化の発信
- ②進捗:
 - ・生産者(農家)と料理家・醸造家を繋ぐ場(マッチング)作り
 - ・生産者、料理家、醸造家の生の声を毎月収集



Lineオープンチャット開設
(159名参加)



太田哲雄氏講演会



事業者向け
醸造所(7か所)見学

域内地産地消メニュー活性化

- ③課題: **キラークンテンツ**開発とプロモーション活動

5. R5年度活動内容(特定事業:景観デザイン)

- ①目的:
 - ・景観デザインコード策定により、サイン類統一とストリートファニチャ類に一定の基本ルール制定
 - ・景観的に調和したエリアに誘導しHV地域の価値向上

- ②進捗:
 - ・HV八景フォトコンテスト・展覧会開催
 - ・八景プロモーション動画の制作・多言語化(英・中・泰)
 - ・八景周遊旅行商品の造成(1件・在香港旅行会社)



6. 令和6年度 HVT事業計画について

三市村と役割を分担し、以下の業務をHVTが代表して執行。

(1) マーケティング活動・マーケティング関連業務

HVエリア営業活動の基礎となる市場調査・戦略策定及び
インバウンド集客をHVTが代表して業務執行

- ① **戦略策定**: 夏期インバウンド営業エリア共同方針: 対象国と時期
- ② **夏期インバウンド集客**: 海外営業(中・台・香・星・泰への営業)
- ③ **来訪者調査**: 夏期アンケート・インバウンド動態調査
- ④ **市場・来訪者分析**: 調査データに基づく、エリア特性の分析

(2) 受入環境の整備・充実

HVエリアのインバウンド受入れインフラの整備

- ⑤ **二次交通の充実**; 冬季シャトルバス増便・ナイトシャトルバス

(3) 自走のための特定事業遂行

広域周遊観光誘客に繋がる事業を集中執行

- ⑥ **ガストロノミー**: キラーコンテンツ作りに向けた地域食材の研究
- ⑦ **景観デザイン**: 八景ツアー事業構築(近隣市村の含めた広域周遊)・
デザインコードに基づく受入環境整備の普及

7. 令和6年度 HVT事業内容(案)

(千円)

前頁 事業計画に基づき、以下それぞれの事業内容を実施いたします。

	項目		R6年度		R5 実績	
			予算	内容		
マ ー ケ 関 連 事 業	来訪者アンケート		1,700	来訪者の動向の基礎調査を実施。	1,447	
	インバウンドGPS動態データ		100	インバウンドFITの来訪者データ	100	
	集 客	① 海外プロ モーション	旅行博出展	3,300	香・泰・星 現地旅行博の出展費	2,112
			Web・SNS	2,000	中・台・香・泰・星向けSNS広告	2,000
	② 広域周遊 ルート造成	パンフレット	3,400	松本・長野・糸魚川市との周遊旅行ルート化作りに向けた、広域マップ及び告知HPの制作	0	
		Webページ	1,850			
		FAMツアー	4,462	台・泰・星旅行商品造成者を招聘	0	
特 定 事 業	ガストロノミーツーリズム		(900)	地産メニューの周遊キャンペーンと、キラコンテンツ検討	355	
	SDGs		0	推進状況の把握方法を、大学准教授等も交えて、検討実施	483	
	八景ツアー事業 (フォトコン・写真展)		1,300	八景周遊の活性化させる、フォトコン・優秀作品の写真展開催	1,300	
合計			18,112		7,797	

① 令和6年度海外プロモーション計画

主要国に対して、2／年 程度の現地旅行博への出展及びSNS広告を実施。

HVTにて出展	HVPBにて出展	他観光団体にて出展
HVTにて出展検討中	HVPBにて出展検討中	他観光団体にて検討中

国・地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中国			深圳SITE	昆明CITM		上海ITB						
			北京BITE	上海イベント		広州CITIE						
韓国		KOTFA					交流 おまつり					
		Travel Show					Travel Show					
香港			香港ITE	Book Fair				Outdoor Sports Expo				
台湾		台北 TTE	高雄KTF				日本観光物 産展	ITF 台北 国際旅行博				
			北ア山麓									
タイ						NIPPON HAKU		Visit Japan FIT Fair		TITF		
シンガ ポール					Natas	Japan Travel Fair	The Japan Rail Fair				Natas	
オースト ラリア		Snow Travel Expo										
米国	MTS						県トップ セールス					

② 「塩の道」を核とした**広域周遊コンテンツ**造成事業

<コンテンツ内容と考え方>

「塩の道」ならではの歴史的価値の建造物や旧道と圧倒的な山岳景観や、域内のアクティビティ(MTB,SUP)を併せ、エリア全体としての魅力を発信。HakubaValleyと近隣の松本糸魚川長野市等との広域周遊化することで、滞在日数の長期化を図り、特にグリーン期の観光事業者の活性化へつなげる。



プロモーション用素材の作成

A1サイズ 地図パンフレット
 表面:HV中心とした広域マップ
 裏面:3市村・近接市村のスポット

2. Webでの広域マップ制作

海外出展時やセールスコール時に使用

FAMツアー(24年9月頃予定)

- 台・泰・星 旅行商品造成者を招聘
- ・松本イン糸魚川アウト 4泊5日程度
 - ・宿泊は、全てHVエリア
 - ・エリア内宿泊業者との商談会開催
 - ・年度内の旅行商品販売を招聘条件



観光庁補助事業「地域観光新発見事業」を活用し実施予定
 4月中旬 申請済み 6月上旬 採否連絡予定

8. 観光財源の地域連携事業への活用について

長野県観光振興財源検討部会にて、検討されている観光財源(宿泊税)について、一部 財源が市村が交付金や補助金により活用できる方向で検討されている。
(次頁に中間とりまとめ案)



観光客の利便性向上と3市村観光事業者の運営の効率化を図るため、
地域連携施策として、本財源の活用に向け、各自治体と議論させて頂きたい。

活用用途の案(例)

- ・マーケティング基礎データの取得(観光DX)
- ・夏のHV共通券の販売・管理

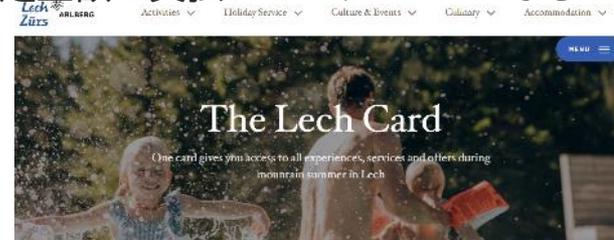
<宿泊税を活用した、海外事例>

インスブルックカード

共に エリア内の観光施設や公共交通が一定金額の支払いでフリーパスとなる



レッヒカード



補足；長野県観光振興財源検討状況

観光財源(税収)の一部が、市町村への交付金や補助金の形で活用できることが、想定されている(赤枠内の箇所)。

長野県観光振興財源検討部会報告書 概要版

▶ 検討結果のまとめ

①新たな観光振興財源検討の必要性

- ・長野県観光の目指す姿である「世界水準の山岳高原観光地」の実現に向けて、ハード・ソフト両面から様々な観光振興施策に取り組んでいく必要がある
- ・一方で高齢化による社会保障関係費の増加や頻発する災害への対応強化費用増加などにより県財政の硬直化が懸念される
- ・現状の地方財政制度では、県税収入が増加しても地方交付税は減少することとなり、独自の自主財源確保策を検討することが必要

②観光振興財源確保の基本的な考え方

- ・地域に内在する強み・特徴を伸ばし、住む人が地域を誇りに思うとともに、その暮らしに憧れて訪れる観光客が共に観光地を創る
- ・観光に関わる全ての人々がサステナブル(持続可能)かつユニバーサル(誰もが観光を楽しめる)となる取組を進める

これらを踏まえ、「世界水準の山岳高原観光地」の実現に向けて今後観光振興財源を活用して取り組む必要のある施策例を以下のとおり整理した。

なお、下記施策は例示であり、具体的な使途や配分は、今後県が策定する観光ビジョン(仮称)等において示すこととなる。

区分	観光施策例
長野県らしい観光コンテンツの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なアクティビティの充実 ・自然・文化資源の観光面での活用促進 ・観光を通じた学びの支援 ・新しいライフスタイルへの対応
世界水準の受入環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・観光分野のDX推進 ・交通の利便性向上 ・インバウンド対応の強化 ・ユニバーサルツーリズムの推進 ・環境に配慮した観光地づくりなど観光地の質の向上
更なる観光振興の体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ・世界水準の観光地を支える世界水準の観光地経営組織の構築 ・観光人材の確保・育成
県内市町村への支援	<p>税収の一部を交付金・補助金により、市町村が活用できる形とすることを想定</p>
財政規模計	約30～50億円

③新たな観光振興財源確保策

他自治体の事例研究や対象となる観光行動の検討を行い、以下のとおり整理した。

- ・自主財源による政策の決定や安定的・持続的に必要となる収入規模の確保が可能な「法定外税」が適切
- ・地域のインフラ等を旅行者も利用しているため、相応分のコストを旅行者が負担することは妥当
- ・消費と行為の場所が近く、課税客体の捕捉性が高いことから徴収が容易であり、「短期の滞在者」として共に長野県を創るに当たり、負担を求める行為として適当である「宿泊」行為への課税について、まずは検討することが望ましい
- ・ただし、更なる財源確保の必要が生じる場合は、「入山」や「入域」等を含めた対象・手法による財源確保策についても検討すべき

▶ 税の制度設計(イメージ)

納税義務者(担税者)	旅館業法に規定するホテル・旅館・簡易宿所、住宅宿泊事業法に規定する住宅宿泊事業に係る施設(民泊)の宿泊者
徴収方法及び特別徴収義務者	<ul style="list-style-type: none"> ・徴収方法：特別徴収 ・特別徴収義務者：宿泊事業者等
税率	<ul style="list-style-type: none"> ・定額制(例 1人1泊100円～500円) ・定率制(例 宿泊料金の1～5%) ※県において検討
免税点	税率や徴収コスト等を踏まえ、県において検討
課税免除	学習旅行に対しては、課税免除の設定又は助成制度などの負担軽減策を県において検討
課税期間(見直し期間)	導入当初3年、以後は5年ごと

▶ 留意事項

- ・市町村が独自に税を導入する場合は、県の税率を一定程度引き下げるなど、その調整の考え方を県として速やかに提示し、丁寧な調整を行う必要がある
- ・税導入後の使途については、宿泊事業者等観光関係者・市町村等からなる場において毎年度検証すべき

KPI(主要成長目標指数)

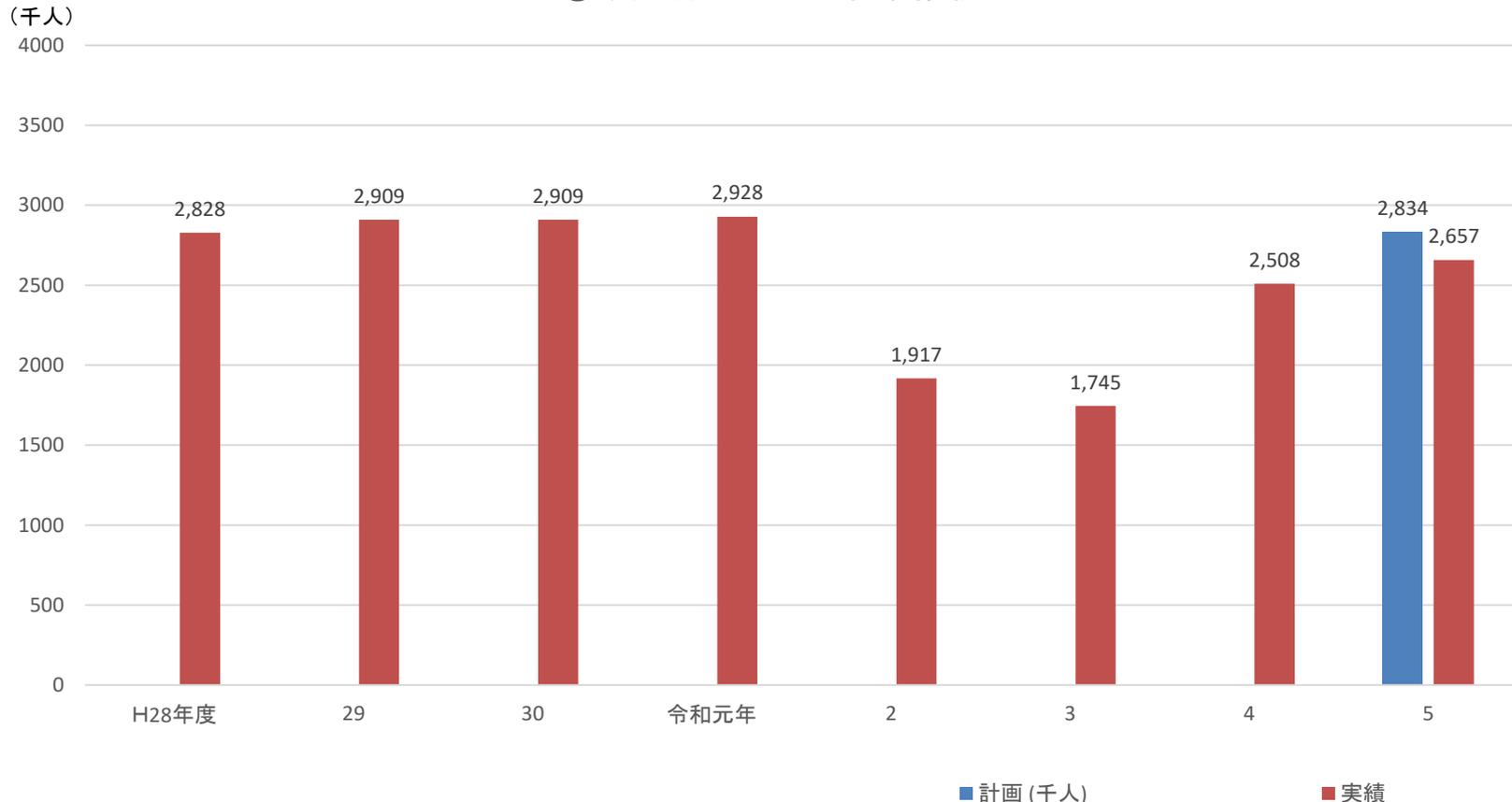
今年度は、見直した各KPIに対しての進捗を確認いたしました。
 5月8日にCOVID-19の規制が解かれました。
 影響は依然ありますが、計画に対し概ね順調に推移中です。



KPI(成長目標指数) ① 観光客延べ宿泊者数

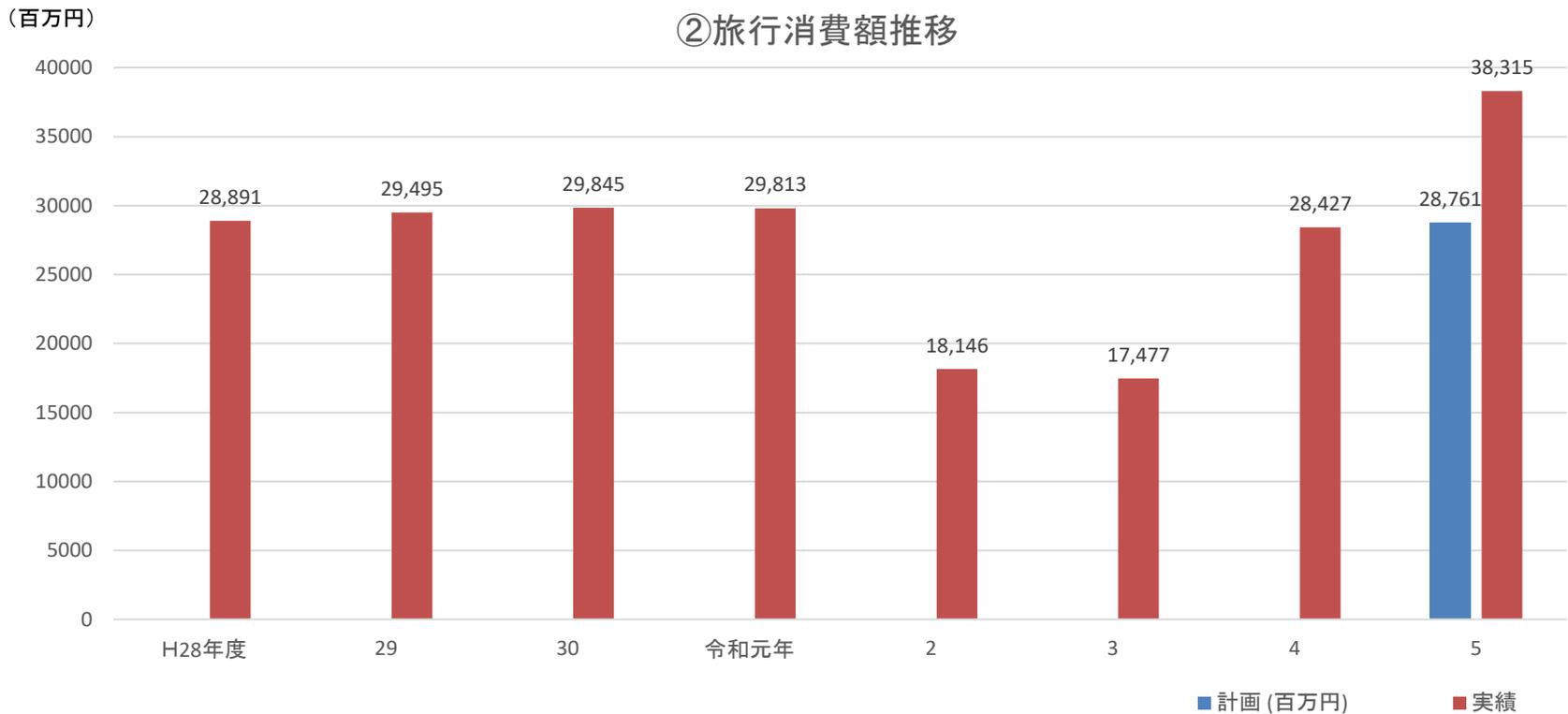
5月8日にCovid-19に関する規制が廃止となり、
予算には一歩及ばずながら緩やかな増加。

①観光客延べ宿泊者数推移



KPI(成長目標指数) ② 旅行消費額

旅行消費額は対前年/対予算共に増加。
 インバウンドのスキー来場者数大幅増、且つ円安もあり
 消費額がアップしたものと推測。



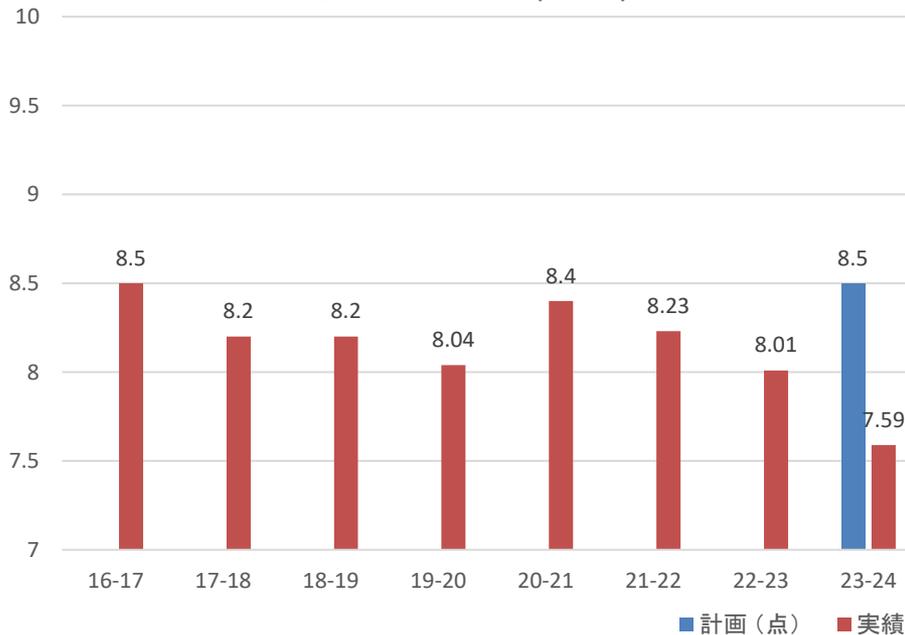
※ Annual Report 2022-23より修正あり (令和4年度数値: 33,459⇒28,427)
 出典: 3市村調べ

KPI(成長目標指数)

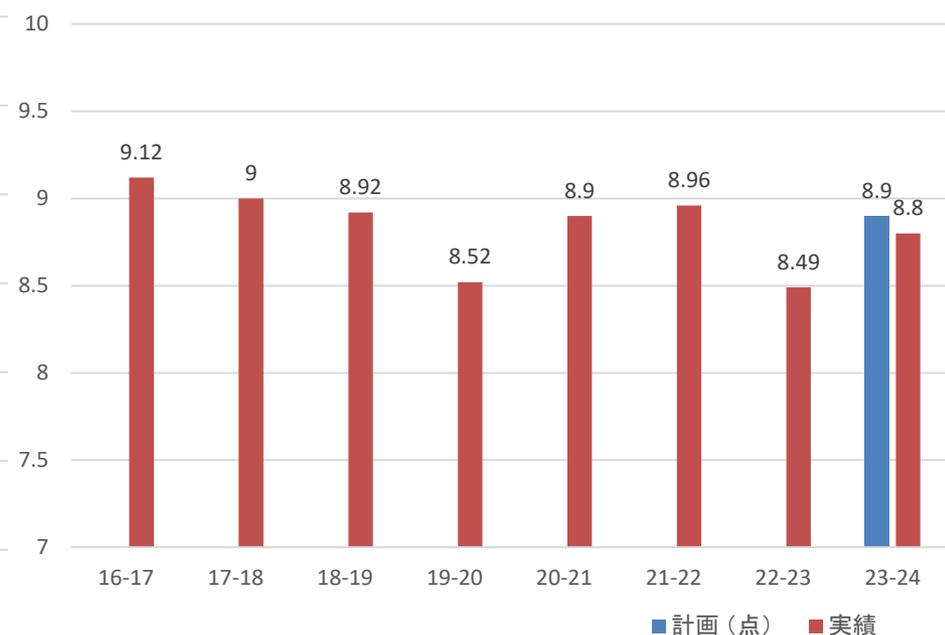
③ 冬期(スキー場)来訪者満足度

国内は軒並み減少。外国人は前年より改善し目標値に迫るが僅かに未達。サービス面が評価結果に繋がっていると推測。

③顧客満足度(国内)推移



③顧客満足度(外国人)推移

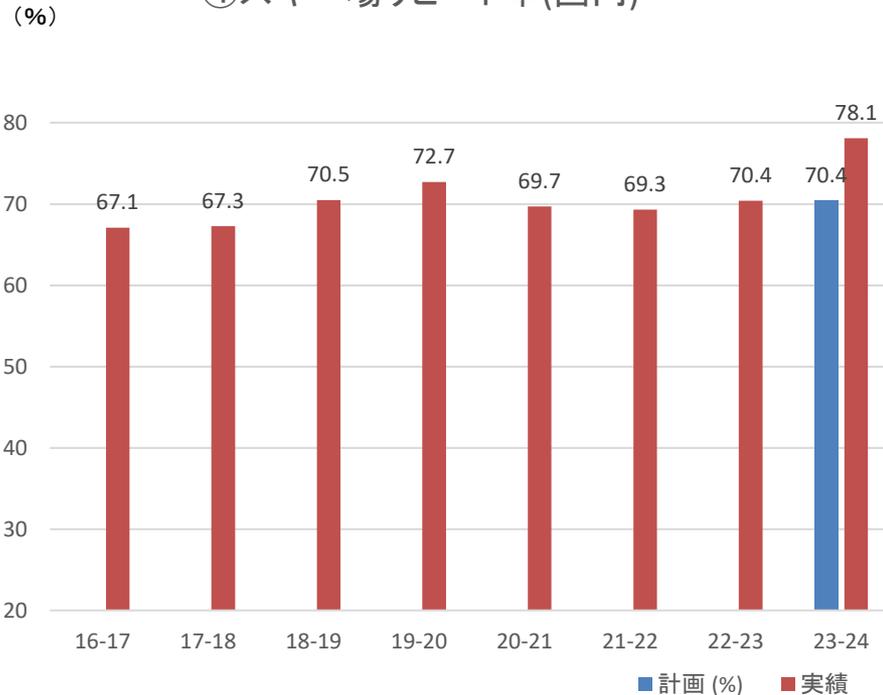


KPI(成長目標指数)

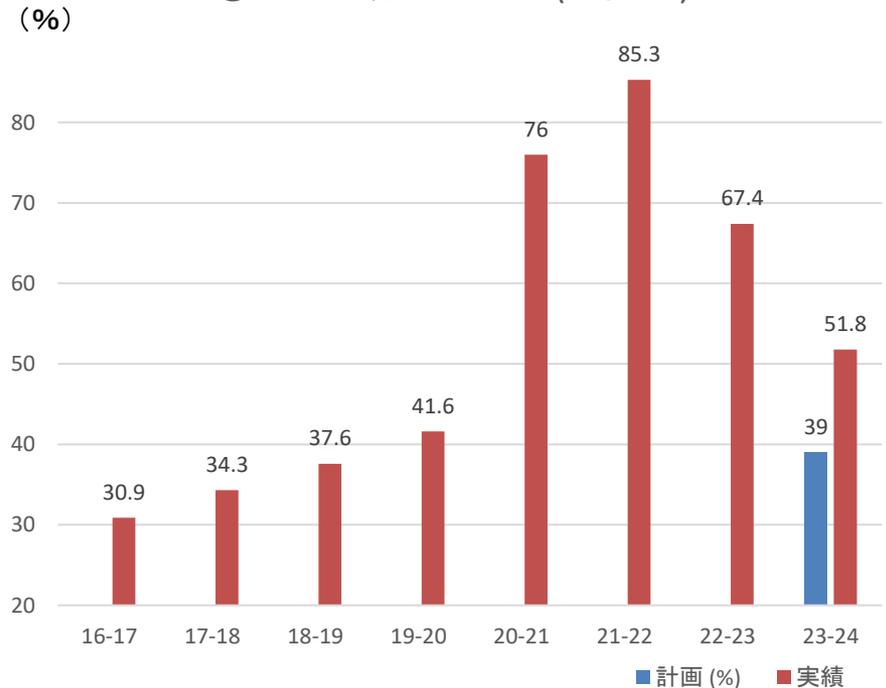
④ 冬期(スキー場)リピート率

国内は対前年/対予算共に増加。外国人は対前年で減少するも予算より増加。

④スキー場リピート率(国内)



④スキー場リピート率(外国人)



KPI(成長目標指数)

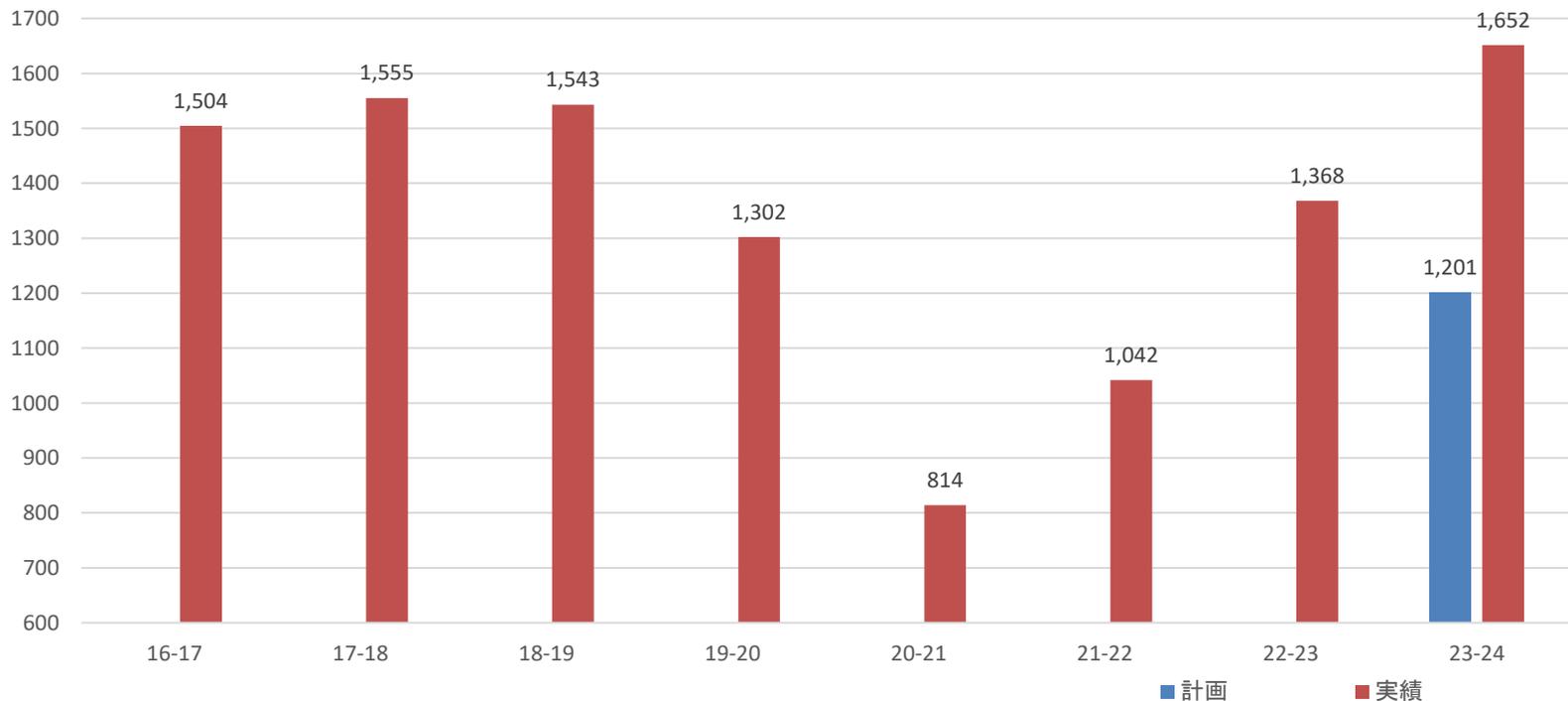
⑤ 冬期スキー場総来場者数

2023-24シーズンの総来場者数は165万人。

国内来場者数は前年度から、▲2万人減の109万人、
外国人来場者数は前年度から、30万人増の57万人であった。

(千人)

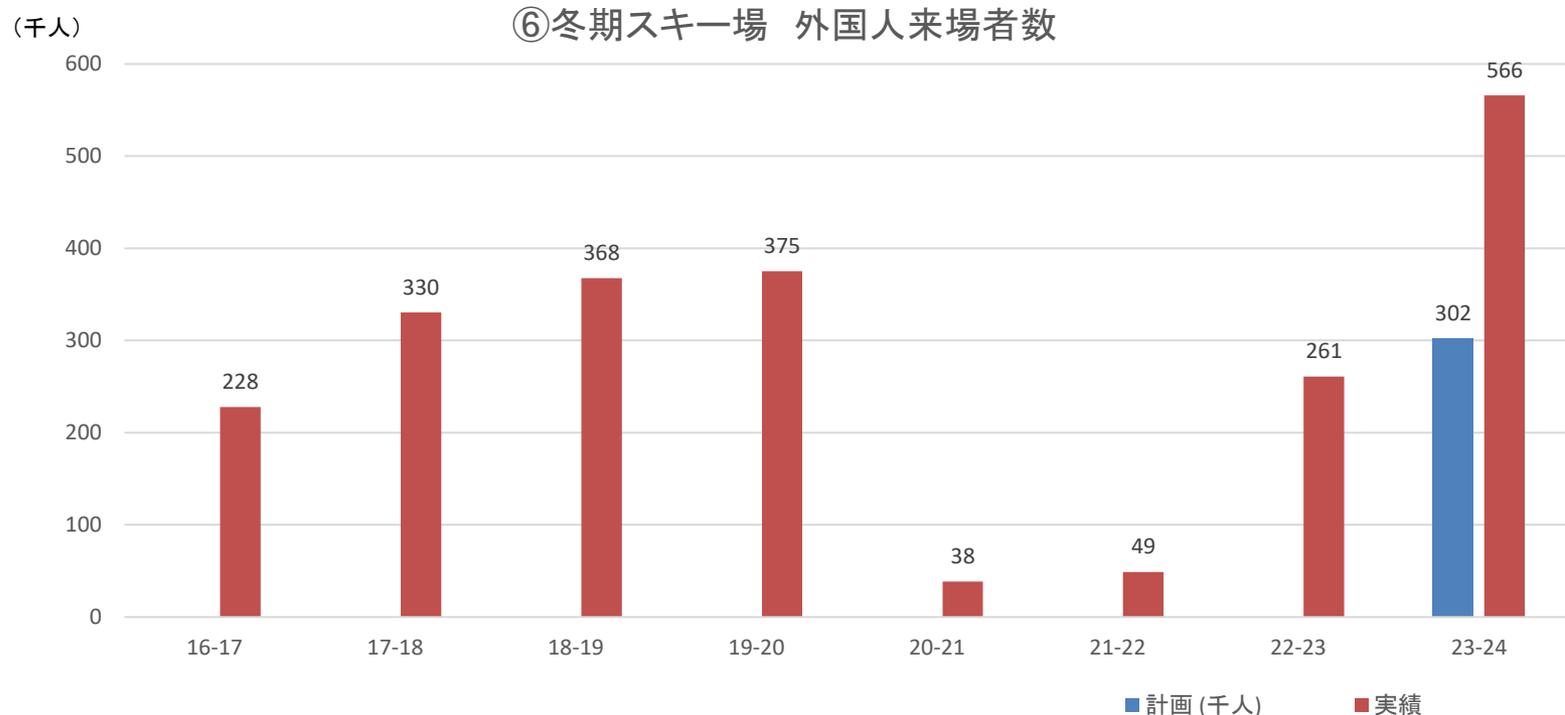
⑤冬期スキー場 総来場者数



KPI(成長目標指数)

⑥ ⑤の内外国人来場者数

Covid-19の規制廃止、2022年から続いている32年ぶりの円安相場、JAPOWとしての知名度相まりインバウンド来場者数統計を開始した2009-10シーズン以降で過去最高を記録。

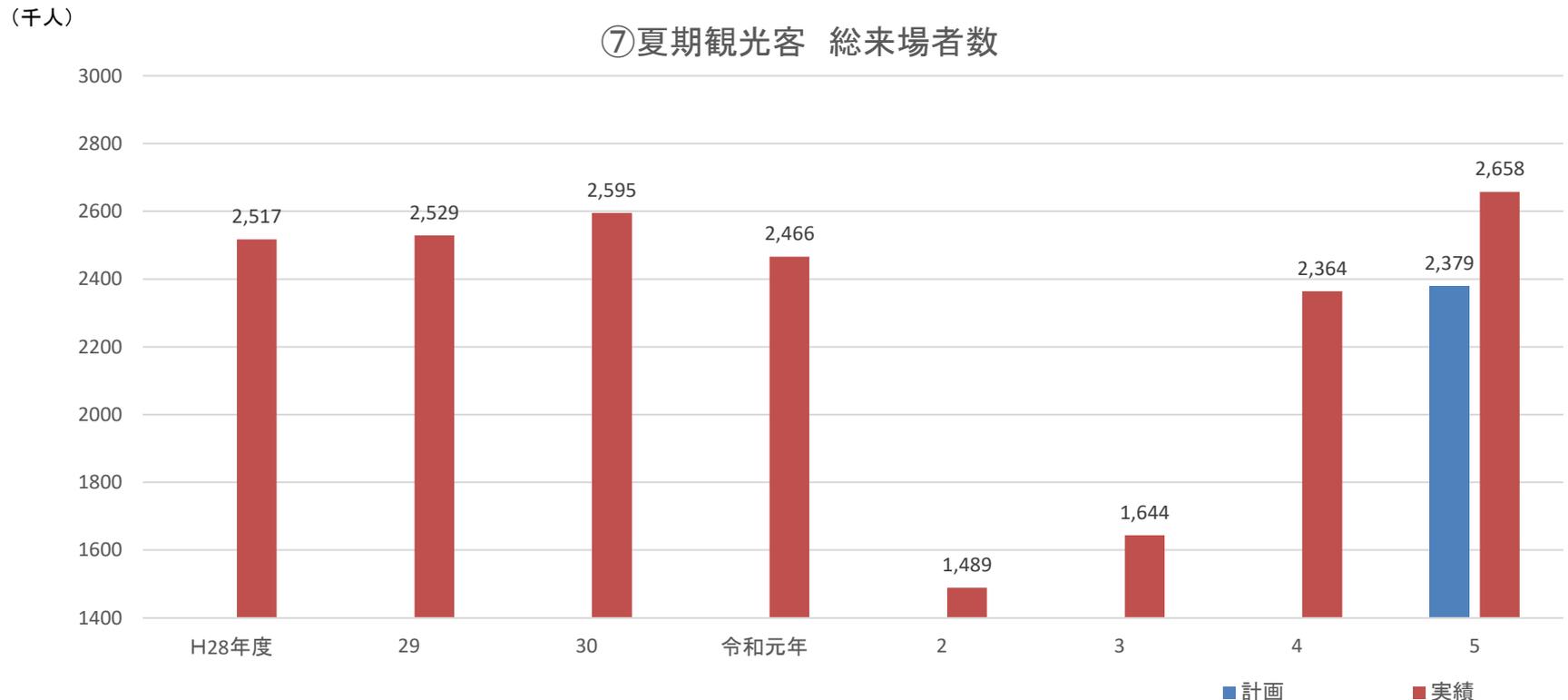


注: Hakuba Valleyは、爺が岳、鹿島槍、さのさか、五竜、Hakuba47、八方尾根、岩岳、柵池高原、白馬乗鞍、コルチナの10スキー場で構成
出展: HVPB調べ

KPI(成長目標指数)

⑦ 夏期観光客総来場者数

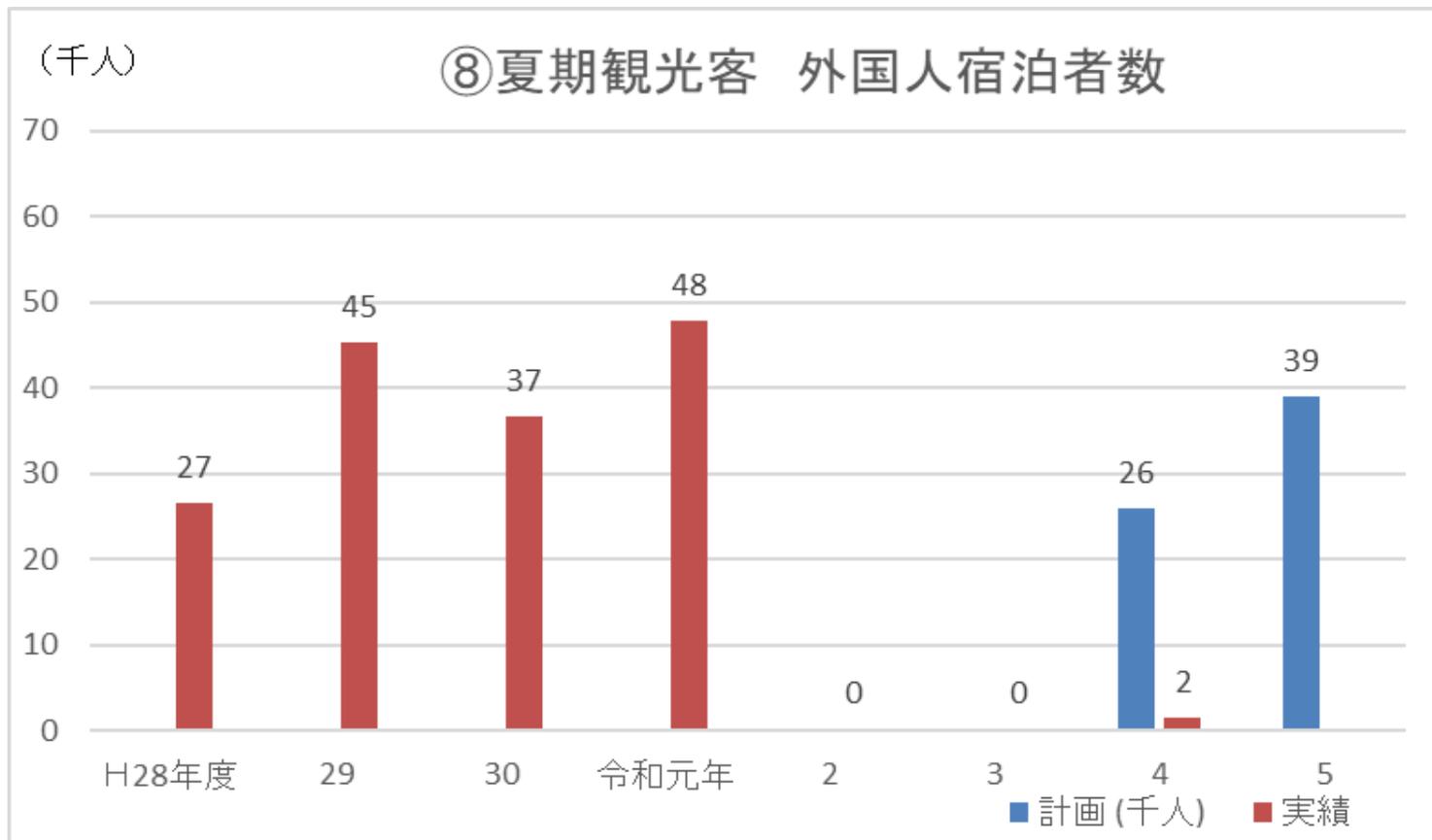
岩岳のグリーンシーズン人気や黒部ダム竣工60周年イベント等があり夏期も堅調に増加。



KPI(成長目標指数)

⑧ ⑦の内外国人宿泊者数

2022年10月11日にCovid-19の水際対策が大幅緩和され
10月より回復の兆し。(R5年度は、市村にて未集計)



出典:3市村調べ
※令和5度は市村未集計の為、前年度データのみ

予決算概況

予決算概況

① 決算(貸借対照表 資産の部)

貸借対照表

令和6年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
普通預金		
八十二銀行白馬支店(本口座)	14,685,258	14,685,258
前払費用		
インターリンクパティダ-4月分	1,320	
事務所4月分家賃	110,000	111,320
未収入金		
県 令和5年度長野県元気づくり支援事業	2,818,000	
HVPB 事業収入	8,586,561	11,404,561
流動資産合計		26,201,139
2 固定資産	0	
資産合計		0
資産合計		26,201,139

予決算概況

① 決算(貸借対照表 負債・資本の部)

(単位:円)

科 目	金 額		
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
従業員3月分給料	2,430,517		
1・2月分社会保険料	394,654		
3月分社会保険料	369,560		
2月分電話代	38,928		
3月分電話代	37,034		
3月分電気代	25,572		
3月分ガス代	40,091		
12月～3月分北°-機リース代他	53,729		
健康診断料(2名分)	10,210		
健康診断料(3名分)	38,504		
汲み取り料	13,689		
携帯電話代	9,780		
銀行 3月分IB手数料	2,200		
水道料	1,510		
令和5年度 消費税	150,000	3,615,978	
預り金			
1,2月社会保険料	385,185		
		385,185	4,001,163
未払法人税等(法人税・事業税・住民税)	942,200		
流動負債合計		942,200	
2 固定負債			
	0		
固定負債合計		0	
負債合計			4,943,363
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産	7,158,266		
当期正味財産増加額	14,099,510	21,257,776	
正味財産合計			21,257,776
負債及び正味財産合計			26,201,139

① 決算(損益計算書・収益の部)

損益計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(税込み 単位:円)

科目	内 訳	決算額	予算額	差 額	摘 要
I <収益の部>					
1. 会費 収入	1.1号会員	21,000,000	21,000,000	0	大町市・白馬村・小谷村
	2.2号会員	29,000,000	29,000,000	0	大北地区索道事業者協議会
	3.3号会員	900,000	900,000	0	大町市観光協会・白馬村観光局・小谷村観光連盟
	4.4号会員	600,000	600,000	0	社員会費
	小計	51,500,000	51,500,000	0	
2. 負担金 収入	1.大町市	755,845	0	755,845	・八景普及促進事業¥169,913 ・SDGsイベント,HP改修¥20,421 ・ガストロイベント¥16,865 ・アンケート調査¥448,646 ・タイプromo¥100,000
	2.白馬村	1,555,037	1,694,000	-138,963	・八景普及促進事業¥459,401 ・SDGsイベント,HP改変¥55,546 ・ガストロイベント¥40,832 ・タイプromo¥100,000 ・香港プロモ¥349,305 ・アンケート調査¥549,953
	3.小谷村	1,272,912	519,000	753,912	・八景普及促進事業¥427,401 ・SDGsイベント,HP改変¥18,113 ・ガストロイベント¥13,315 ・タイプromo¥100,000 ・香港プロモ¥265,437 ・アンケート調査¥448,646
	4.索道事業者協議会		0	0	
	小計	3,583,794	2,213,000	1,370,794	
3. 補助金 収入	1.国	5,388,200	0	5,388,200	観光庁「インバウンドコンテンツ造成事業」
	2.長野県	2,818,000	3,584,000	-766,000	令和5年度長野県元気づくり支援金 (未収入金計上/4月10日 入金済)
	小計	8,206,200	3,584,000	4,622,200	
4. 事業 収入	HAKUBAVALLEY プロモーションボード	8,586,561	0	8,586,561	HVPB業務委託手数料¥1,000,000 販売業務手数料¥7,586,561
	小計	8,586,561	0	8,586,561	
収益合計		71,876,555	57,297,000	14,579,555	

① 決算(損益計算書・支出の部 事業費)

科目	内 訳	決算額	予算額	差 額	摘 要
II <費用及び損失の部>					
1. 事業費	1.ホームページ管理費	15,840	120,000	-104,160	プロバイダー利用料¥15,840
	2.ウェブ安全標識追加整備事業	0	0	0	令和4年度事業完了
	3.SDG's事業	483,012	1,910,000	-1,426,988	事業者向け講演会9月実施 ¥247,612 HPサイト改修 ¥235,400
	4.デザインコード八景選定・広報事業	9,385,870	1,200,000	8,185,870	※観光庁インバウンド造成事業採択による事業実施のため夏季営業より八景事業へ予算区分変更 ・八景写真展(3市村にて開催) ¥1,003,354 ・インバウンドコンテンツ造成 ¥8,382,516 (WEB動画制作/FAMトリップ実施/宣材多言語化)
	5.ガストロミーツリズム推進事業	355,058	900,000	-544,942	事業者向けマッチングイベント開催9月 ¥355,058
	6.グリーン期の誘客ツール作成事業(SNS)	0	0	0	令和4年度事業完了
	7.顧客データの収集・共有活用事業	1,547,244	1,800,000	-252,756	・グリーンシーズンアンケート)調査¥1,447,244 ・インバウンド動態調査費 ¥100,000
	8.夏季海外営業	2,112,548	10,419,600	-8,307,052	※観光庁インバウンド造成事業採択による事業実施のため八景事業へ予算区分変更 ・5月台湾プロモーション出展 ¥222,234 ・6月北京JNTOパンフ出展 ¥7,207 ・7月香港BookFair出展 ¥828,251 ・1月タイTITF出展 ¥971,256 ・プロモーション出展用バナー制作 ¥83,600
事業費合計		13,899,572	16,349,600	-2,450,028	

① 決算(損益計算書・支出の部 管理費 1/2)

科目	内 訳	決算額	予算額	差 額	摘 要
2. 管理費	給与手当	29,263,437	33,000,000	-3,736,563	事務局員6名(R5年度増員なし) 給与・時間外手当等
	出向負担金	2,000,000	2,000,000	0	R5年度 アルピコより出向社員1名
	通勤手当	443,810	450,000	-6,190	事務局員6名 通勤手当
	法定福利費	4,684,490	5,700,000	-1,015,510	事務局員6名 社会保険・労働保険(R4確定・R5概算)
	福利厚生費	2,045,153	2,500,000	-454,847	事務局員6名 中退共済金¥1,994,000 健診費6名¥51,153
	旅費交通費	199,975	750,000	-550,025	打合せ等移動交通費・出張時日当等
	会議費	0	10,000	-10,000	大町市役所にて開催のため費用負担なし
	交際費	59,139	50,000	9,139	外部との打合せ・渉外等
	地代家賃	1,320,000	1,320,000	0	八方尾根開発(株)R5.4月分～R6.3月分
	水道光熱費	503,792	560,000	-56,208	電気¥293,810 ・ガス¥191,862 ・水道¥18,120(R5.4月～R6.3月)
	衛生費	54,990	60,000	-5,010	汲み取り4回
	通信費	424,052	600,000	-175,948	電話12か月¥298,929・携帯電話12か月 ¥117,401・切手・宅急便等¥7,722
	支払手数料	221,301	300,000	-78,699	振込手数料・八十二銀行IB・PC設定・ドメイン使用料 等 謝礼金

① 決算(損益計算書・支出の部 管理費 2/2、利益の部)

科目	内 訳	決算額	予算額	差 額	摘 要
2. 管理費	消耗品費	76,350	200,000	-123,650	事務所内消耗品・備品・名刺等
	事務用品費	18,882	100,000	-81,118	事務所内事務用品
	リース料	536,813	600,000	-63,187	事務局員6名/出向社員1名PC12か月¥286,605 ・コピー複合機12か月¥158,400 ・Zoom利用料(4名)¥91,808
	新聞図書費	55,900	65,000	-9,100	新聞2紙 6月より購読
	広告宣伝費	0	20,000	-20,000	講演会・イベント等チラシ印刷
	租税公課	205,050	70,000	135,050	役員登記変更届、契約書等収入印紙 ¥55,012 受取利息(国税)¥38 令和5年度未払消費税¥150,000
	管理諸費	171,600	200,000	-28,400	ネットセキュリティ月額費用12か月¥158,400・ リクルートSPI¥13,200
	支払報酬料	650,793	1,000,000	-349,207	会計事務所¥396,000 給与業務委託¥238,843 司法書士事務所¥15,950
管理費合計		42,935,527	49,555,000	-6,619,473	
費用合計		56,835,099	65,904,600	-9,069,501	
営業利益		15,041,456	-8,607,600	23,649,056	
営業外収益		254	0	254	受取利息(8月・2月)
経常利益		15,041,710	-8,607,600	23,649,310	
税引前当期純利益		15,041,710	-8,607,600	23,649,310	
法人税、住民税及び事業税		942,200	0	942,200	令和5年度法人税等¥942,200
当期純利益		14,099,510	-8,607,600	22,707,110	

② 予算

< I ; 収益の部 >

(税込み 単位:円)

科目	内 訳	令和6年度 予算額	令和5年度 決算額	差 額	摘 要
I <収益の部>					
1 会費 収入	1.1号会員	21,000,000	21,000,000	0	大町市・白馬村・小谷村
	2.2号会員	29,000,000	29,000,000	0	大北地区索道事業者協議会
	3.3号会員	900,000	900,000	0	大町市観光協会・白馬村観光局・小谷村観光連盟
	4.4号会員	600,000	600,000	0	アルピコ交通、白馬交通
	小計	51,500,000	51,500,000	0	
2 負担金 収入	1.大町市	4,201,000	755,845	3,445,155	
	2.白馬村	5,000,000	1,555,037	3,444,963	
	3.小谷村	4,134,000	1,272,912	2,861,088	
	4.索道事業者協議会	0	0	0	
	小計	13,335,000	3,583,794	9,751,206	
3 補助金 収入	1.国	0	5,388,200	-5,388,200	観光庁「地域観光新発見事業」補助金申請中
	2.長野県	0	2,818,000	-2,818,000	長野県「元気づくり支援金」申請中
	小計	0	8,206,200	-8,206,200	
4 事業 収入	1.HAKUBA VALLEY索道 事業者プロモーションポ ード	9,000,000	8,586,561	413,439	HVPB業務委託手数料¥1,500,000 販売業務手 数料¥7,500,000
	小計	9,000,000	8,586,561	413,439	
	収益合計	73,835,000	71,876,555	1,958,445	

<Ⅱ;費用及び損失の部②-1>

科 目	内 訳	令和6年度予算額	令和5年度決算額	差 額	摘 要
2. 管理費	給与手当	37,767,000	29,263,437	8,503,563	事務局員2名増員 事務局員6名+2名 給与・時間外手当等
	出向負担金	0	2,000,000	-2,000,000	
	通勤手当	617,810	443,810	174,000	事務局員2名増員 事務局員6名+2名
	法定福利費	6,600,000	4,684,490	1,915,510	事務局員2名増員 事務局員6名+2名 社会保険 労働保険(R5確定・R6概算)
	福利厚生費	2,346,000	2,045,153	300,847	事務局員2名増員 事務局員6名+2名 中退共掛金6名+2名 健康診断事務局員6名+2名
	旅費交通費	500,000	199,975	300,025	先進地域取組視察・打合せ等移動交通費・出張時日当
	会議費	10,000	0	10,000	総会時お茶代等
	交際費	60,000	59,139	861	外部との打合せ・渉外等
	地代家賃	1,320,000	1,320,000	0	八方尾根開発(株)R6.4月分～R7.3月分
	水道光熱費	560,000	503,792	56,208	電気(6月より値上げ)・ガス・水道R6.4月～R7.3月
	衛生費	70,000	54,990	15,010	汲み取り5回
	通信費	450,000	424,052	25,948	電話12か月(機器不良により入替)・ 携帯電話12か月・切手・宅急便等
	支払手数料	300,000	221,301	78,699	振込手数料・銀行・PC設定・ドメイン使用料

< II ; 費用及び損失の部②-2、利益 >

科 目	内 訳	令和6年度 予算額	令和5年度 決算額	差 額	摘 要
	消耗品費	80,000	76,350	3,650	事務所内消耗品・備品・名刺等(8名分)
	事務用品費	20,000	18,882	1,118	事務所内事務用品(8名分)
	リース料	600,000	536,813	63,187	事務局員8名 PC12か月・固定電話1台12か月・コピー複合機12か月
	新聞図書費	70,800	55,900	14,900	新聞2紙 定期購読12か月
	広告宣伝費	300,000	0	300,000	カレンダー制作
	租税公課	500,000	205,050	294,950	役員登記変更届時印紙・契約書等収入印紙・受取利息(国税) 令和6年度消費税 ¥429,000
	管理諸費	185,000	171,600	13,400	ネットセキュリティ月額費用12か月・謄本取得・リクルート費用
	支払報酬料	736,000	650,793	85,207	会計事務所月額顧問料・給与業務委託、社保顧問料・登記変更諸費用等
	管理費合計	53,092,610	42,935,527	10,157,083	
	費用合計	71,324,610	56,835,099	14,489,511	
	営業利益	2,510,390	15,041,456	-12,531,066	
	営業外収益		254	-254	
	経常利益	2,510,390	15,041,710	-12,531,320	
	税引前当期純利益	2,510,390	15,041,710	-12,531,320	
	法人税、住民税及び事業税	1,591,000	942,200	648,800	令和6年度法人税、住民税及び事業税¥1,591,000 (令和7年度5月支払予定)
	当期純利益	919,390	14,099,510	-13,180,120	

お問い合わせ先



〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村北城5723

一般社団法人 HAKUBAVALLEY TOURISM

Tel 0261-71-1898 Fax 0261-71-1899

www.hakubavalley.com